

ギカイの窓

2019年(平成31年)2月1日 No.55

特集

佐久のカラマツ山の守り人×市議会

トピックス

平成30年12月定例会
20名の議員が市政を問います 一般質問
3月8日 議場コンサート
市長へ政策提言を行いました!!
議会と語ろう会を開催します

表紙

完成!と まだまだ!!

作成者 武論尊100時間漫画塾
第1期生 No.7

聞かせてあなたの夢

佐久市の小学6年生が夢を語ります



はちまん いちろう
八幡 吉路さん
(高瀬小学校6年生)

佐久っ子の夢、応援します!

ぼくの将来の夢は、バスケのNBA選手です。3年生の時、動画でステフィン・カリーがコートのハーフラインからシュートを入れる動画を見て、すごかったいいなと思いました。今までに二人の日本人が、NBAでプレーしていることも、僕が頑張りたい理由です。

僕の家はバスケ一家です。特にお母さんは、小学校の頃全国大会に3回も行ったそうです。

その影響で、僕もミニバスを小学校1年生から続けています。バスケは、体力や技を使うので毎日マラソンをしたり、ドリブルや技の練習をしています。

NBA選手になるためには、体力だけでなく、頭脳も大切なので、英語や算数などの勉強も頑張りたいです。これからも努力を続け、いつか夢の舞台に立ちたいです。

議会の主な活動

このコーナーでは、議会が本会議以外でおこなっている主な活動を、写真で報告していきます。

サク市交流研修生が表敬訪問



10月23日

10月23日にエストニア共和国サク市子ども交流研修生が佐久市議会を表敬訪問されました。日本文化に触れてもらうため、女性議員連盟と一緒に折り紙を体験していただきました。

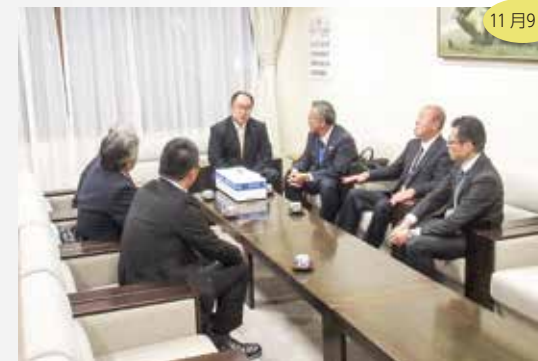
スフバートル区交流研修生が表敬訪問



11月5日

11月5日にモンゴル国スフバートル区子ども交流研修生が佐久市議会を表敬訪問されました。女性議員連盟よりアニメソングのピアノ演奏や、童謡を子どもたちと一緒に歌いました。

友好都市の議長が表敬訪問



11月9日

友好都市である東京都神津島村の村長と議長が、佐久市農業祭にあわせて来市され、佐久市議会を表敬訪問されました。

政策討論会開催



12月12日

政策討論会が2年ぶりに開催されました。政策討論会での意見を踏まえて、議会の総意として提言書を市長へ提出しました。



佐久の カラマツ山の守り人 × 市議会

夏の異常高温や台風、地震など私たちの日常生活は自然環境との関わり抜きには考えられません。快適健康都市をめざすが市の未来にとって市民全体が考えるべき大切なテーマです。

そんな中で昨年末のある日、佐久の林業を守り育てながら自然を大いに活かした佐久市づくりに夢を膨らませる3人の木材事業者の方と内山地区の木の香りいっぱいの事務所で熱く語り合った報告です。



佐久のカラマツ山の再生でエコ社会が息づく元気な佐久市づくりを

―会の名称や活動の内容などについて

・佐久地域木質バイオマス研究会と名付けて3年程前から同好会のような形で活動し始めています。活動エリアは佐久地域全体を視野にいられています。

の危機にさらされており、林業衰退の流れを食い止め身近な生活環境に木材をもっと有効に生かす道はないものかと思案する中で、新潟県のペレットストーブ事業者や岩手県の紫波町や埼玉県も見学。東北大学の中野先生にも協力していただき勉強会

を立ち上げてきました。

・昨年からはペレットを作る製造機を購入し、ストーブの燃料として販売を始めており、一袋10kgで年間1万袋程の出荷ができています。

・また佐久病院が「地球にやさしい、自然に帰るエコ熱源」と

してチップボイラーを設置したため、その燃料チップの供給会社をつくり月に約30mを納入しています。

―これからはどんな木材普及が進められそうですか？

・注目されるのはカラマツ材のペレットストーブです。原料は



ペレット

床材などの製造時に出る削りくずのため乾燥させる必要はなく、燃焼効率が高いため高いペレットが生産できます。

・全国の山林は杉が多い中、いまカラマツは針葉樹合板などの住宅用材としても需要は拡大しており、最近は檜（ヒノキ）と価格も同等以上になってきています。また松くい虫の被害は受けません。

・信州カラマツは望月地区の協和が元祖で年輪密度が詰まっていて、かつては北海道の炭鉱にも多く使われ、佐久のカラマツ

として名が知られてきました。しかし戦後の需要低迷で山に植林をしてこなかった時代が続き、山の木が高齢化しています。

・植林してもいるが苗づくりが間に合わない状況です。昔は苗づくりが盛んだった川上村が力を入れ始めているが、すぐに復活とはなりません。カラマツの種は数年に一度の収穫で全県で数十kg程度しか採れず確保が難しい状況です。

・森林組合の協力も受け佐久の風土に合った苗づくりから始め、佐久で育て佐久で消費する循環サイクルを作り上げたいものです。

―今後への思いは？

・佐久地域の自然に魅力を感じ、佐久の山を守り林業をやって行くような後継者を育てたいですね。

・佐久市を「森林のまち」としてPRし移住者を迎え入れる環境が作れればと思います。

・行政と議会の皆さんの協力も得ながら勉強会をもっと盛んにして、市民にも広く認知していただきたいと思います。

常任委員会審査報告

平成30年 12月定例会

平成 30 年 12 月定例会を 11 月 27 日から 12 月 21 日までの 25 日間の会期で開き、条例改正案や平成 30 年度補正予算案など 25 件、意見書案 1 件を可決しました。

議案の審議結果

議案番号	議案名	審議結果	議案番号	議案名	審議結果
84	佐久市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	97	佐久市生涯学習センターの指定管理者の指定について	○
85	佐久市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	98	佐久市コスモホール、佐久市鎌倉彫記念館及び佐久市交流文化館浅科の指定管理者の指定について	○
86	佐久市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	○	99	佐久市佐久平交流センターに係るコンサートグランドピアノの購入について	○
87	佐久市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	100	平成 30 年度佐久市一般会計補正予算（第 6 号）について	○
88	南佐久環境衛生組合規約の変更について	○	101	平成 30 年度佐久市一般会計補正予算（第 7 号）について	○
89	南佐久環境衛生組合の財産処分について	○	102	平成 30 年度佐久市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）について	○
90	佐久市望月総合支援センターの指定管理者の指定について	○	103	平成 30 年度佐久市障害者支援施設臼田学園特別会計補正予算（第 1 号）について	○
91	佐久市春日交流センターの指定管理者の指定について	○	104	平成 30 年度佐久市環境エネルギー事業特別会計補正予算（第 1 号）について	○
92	佐久市望月生きがいセンターの指定管理者の指定について	○	105	平成 30 年度佐久市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）について	○
93	野沢商店街コミュニティセンターの指定管理者の指定について	○	106	佐久市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○
94	エストニア共和国サク市との姉妹都市の提携について	○	107	佐久市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○
95	市道の路線変更について	○	108	平成 30 年度佐久市一般会計補正予算（第 8 号）について	○
96	市民交流ひろばの指定管理者の指定について	○	意見書案第 4 号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書	○

【結果の表示】 ○全会一致で可決・同意 ○賛成多数で可決・同意

請願・陳情の結果一覧

番 号	陳情者	陳情要旨	結 果
平成 30 年 請願第 1 号	佐久市三河田 557-29 佐久地区平和委員会 代表 望 月 清 泰 外 3 団体	米軍基地負担に関する請願	継続審査
平成 30 年 陳情第 5 号	長野市高田 276-8 長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小 林 吟 子	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情	採択
平成 30 年 陳情第 6 号	佐久市瀬戸 1177-10 消費税廃止佐久地区各界連絡会 代表委員 遠 藤 勇	消費税率 10%実施の中止を求める陳情	不採択
平成 30 年 陳情第 7 号	佐久市瀬戸 1177-10 消費税廃止佐久地区各界連絡会 代表委員 遠 藤 勇	消費税の複数税率導入中止を求める陳情	不採択
平成 30 年 陳情第 8 号	佐久市瀬戸 1177-10 消費税廃止佐久地区各界連絡会 代表委員 遠 藤 勇	消費税の適格請求書（インボイス）保存方式導入中止を求める陳情	継続審査

賛否一覧

議案等番号 議案等略名	中條 壽一	市川 稔宣	市川 将	小林 貴幸	神津 正	高橋 良衛	大井 岳夫	関本 功	柳澤 潔	吉川 友子	土屋 俊重	大塚 雄一	清水秀三郎	新緑会				公明党		日本共産党			無所属の会		議決結果	
														吉岡 徹	三石 義文	井出 浩司	土屋 啓子	高柳 博行	和嶋美和子	江本 信彦	小林 歳春	内藤 祐子	小林 松子	柳澤 眞生		塩川 浩志
議案第 106 号 佐久市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	原案可決
議案第 108 号 平成 30 年度佐久市一般会計補正予算(第 8 号) について	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	原案可決
請願第 1 号 米軍基地負担に関する請願 ※継続審査とすることに対する賛否	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	■	■	■	○	○	○	継続審査
陳情第 6 号 消費税率 10%実施の中止を求める陳情	■	■	■	■	■		■	■	■	○	■	■	■	■	■	○	■	■	■	■	○	○	○	○	■	不採択
陳情第 7 号 消費税の複数税率導入中止を求める陳情	■	■	■	■	■		■	■	■	○	■	■	■	■	■	○	■	■	■	■	○	○	○	○	■	不採択

※「○」は賛成 「■」は反対 「退」は退席 「欠」は欠席 議長（高橋良衛）は採決に加わりません。

市税条例の一部改正他可決・「米軍基地負担に関する請願」等継続審査

総務文教委員会 委員長 関 本 功

◆こんな意見や質問がありました

・市税条例の一部改正他 4 件、生涯学習センターに指定管理者の指定他 2 件、一般会計補正予算 2 件を原案可決。

・米軍基地負担に関する請願は継続審査、消費税 10%実施の中止を求める陳情は不採択。

事件案 6 件、予算案 3 件の計 9 件を原案可決

経済建設委員会 委員長 中 條 壽 一

◆こんな意見や質問がありました

・サク市とはイベント等行っているが、より市民レベルでの交流を広げてほしい。

・自動録音機能付き固定電話等の補助金についての周知の徹底を。

主な議案は、エストニア共和国サク市との姉妹都市の提携について、消費者被害防止対策機器購入費補助金について（自動録音機能付き固定電話等）、次世代自動車充電インフラ整備促進事業補助金について。

条例案 1 件、事件案 3 件、予算案 3 件の計 7 件を審査

社会委員会 委員長 三 石 義 文

◆こんな意見や質問がありました

・交流センターや生きがいセンターなど、類似した目的の施設は利用者が、減少しているため、使用目的を変更するなり、多目的な利活用を図っていただきたい。

・保育所への空調設備の設置や、運用については、業者選定、保護者の意見聴取機会にも尽力、配慮をいただきたい。

・市民課窓口レイアウト変更についていろいろな意見を聞き取り入れたことは大きい一歩。引き続き工夫をお願いする。

・浅間病院レスパイトケアは保護者や家族から安心感があるとの声を聞いている。

佐久市望月生きがいセンター 現地調査

◆こんな意見や質問がありました

Q 小中学校のエアコン設置について、長野県下一斉に、エアコンの発注となり、機器の調達が困難になることが予想される。他市に遅れないよう早期に設置していただきたい。

A 様々なことを検討して早期に設置したい。

Q 臼田地区新小学校整備において、臼田給食センターの職員駐車場が不足している。学校建設は地域 100 年の大計であり、一体整備を進めて欲しい。

A 校舎、グラウンド、給食センター等の配置を十分考慮し、学校建設を進めます。

◆こんな意見や質問がありました

Q 次世代自動車充電スタンドについて、ヘルシーテラス佐久南とほととばく浅科では距離が近いのではないかと。

A 買い物中に充電する方が多いと思われる。市内各地には、民間で設置している。

Q 1 日に何台の利用を想定しているか。

A 10 台程度。今後普及も考えて充電施設を整備したい。

◆こんな意見や質問がありました

・交流センターや生きがいセンターなど、類似した目的の施設は利用者が、減少しているため、使用目的を変更するなり、多目的な利活用を図っていただきたい。

・保育所への空調設備の設置や、運用については、業者選定、保護者の意見聴取機会にも尽力、配慮をいただきたい。

・市民課窓口レイアウト変更についていろいろな意見を聞き取り入れたことは大きい一歩。引き続き工夫をお願いする。

・浅間病院レスパイトケアは保護者や家族から安心感があるとの声を聞いている。



学校のエアコン



佐久市望月生きがいセンター 現地調査



ひとくち
メモ

20名の議員が市政を問います

一般質問

- 一般質問の紙面は、質問した議員個々の責任で編集しております。ご不明な点は、議員にお尋ねください。また正式な記録は会議録をご覧ください。
- 佐久ケーブルテレビ等やインターネットによる動画配信を行っていますので是非ご覧ください。



動画配信 QRコード

一般質問とは

議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質することをいう。

エストニア共和国の東京オリンピック 陸上競技の事前合宿が佐久市に内定！



こばやし 貴幸

AQ

小学校の通学区域について。

赤岩区からは82名の児童のうち、中佐都小へ63名、佐久平浅間小へ19名が、また常田区からは54名の児童のうち、中佐都小へ37名、佐久平浅間小へ17名が通学している。通学区域の決定基準を住居表示から行政区に変更することは大きな影響があるので、まずは現状の課題把握と将来的な影響も考慮しながら検討してまいりたい。

Q

東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿の誘致について。

A

エストニア共和国のオリンピック委員会長から、陸上競技の事前合宿を佐久市で行っていただく旨の内諾をいただいた。

Q

中佐都保育園の建て替えについて。

A

中佐都地区は開発などにより今後更に保育需要の増加が予想される地域ではあるが、総合

Q

的に検討してまいりたい。
児童館へのエアコンの増設について。

A

立地環境や利用児童の状況などを踏まえて判断してまいりたい。

◆その他の質問

・中佐都郵便局とJ A交差点付近から中佐都バイパスの佐久中佐都インターチェンジ入口信号までの整備について
・ヘルスケア、メディカル、スポーツなどを融合した「佐久メッセ」の開催について



エストニア陸上協会への誘致活動（2016年）

佐久市の特用作物について もちづき保育園の状況について



おつか 雄一

Q

佐久市の特用作物の中の薬用人参。生産者、生産量共に減少状況だが、薬用人参の生産に対する今後の市の考えを伺いたい。

A

市としては、薬用人参の伝統を伝えていく後継者の育成に関する考え方は、現在市内における薬用人参の栽培者は、6戸まで減少しており、後継者についても厳しい状況にあるとらえている。一方で、市内で若い生産者は、数年前にベテランの栽培者にマンツーマンで指導を受けながら技術を習得したのちに独立して、新たに栽培を開始されたと同っている。こういった実例もあることから、栽培に関心をお持ちの方がいた場合には、生産者組合を通じ、ベテランの生産者から技術を習得していただくなどの対応をしていきたいと考えている。

A

バーでの園児数であるが問題は無いが伺いたい。
現在15名超過している状況だが、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を遵守する中で保育士の数も佐久市保育士配置基準を満たしている。また配慮の必要な園児に対しては、加配保育士を配置し、園児全体に目の届く保育の実施に努めている。

Q

「教職員の業務改善、子供と向き合う時間の確保充実を図るための方策・2014年3月県教委策定」の市内小中学校での達成状況はどうか。安全衛生委員会の設置他、勤務時間削減の方策をとること等。

A

教職員50人以上の浅間中には設置され、他校では安全衛生推進者を選任し安全・健康管理を行っている。勤務時間削減で行事日程見直しや職員会議数削減など様々進めている。さらに改善に向け組織的に努力する。

Q

昨年11月の県教委の方針「直ちに取組む事」の実施状況はどうか。

A

日々の勤務時間は管理ソフトで把握している。佐久市の超過勤務は平均で小学校56時間、中学69時間（昨年より9.5時間減少）だった。80時間越えも居たが個別に実情を聞き改善指導を実施。毎週1回の定時退勤日をほぼ全

相変わらず過労死が心配される教職員の 労働状況の改善について



やなぎさわ まさお 眞生

Q

校で設定している。中学の部活指導は生徒、保護者の理解を得ながら改善を進める。「超勤45時間以下」は未達。支援・指導を行う。

A

現場の声を聴き、ゆとりが生まれる早急な改善策について。
市費支援員の増強等可能な負担軽減策を進めている。

◆その他の質問

長期療養者の状況は、6時間授業の軽減を。英語専科教員とALTの増員を。養護教諭や事務職員の勤務負担の軽減等を。

Q

もちづき保育園の園児数定員170名だが、現在185名で15名オーバー



佐久市の特用作物の薬用人参

学校にゆとり時間



春日温泉もちづき荘の進入路拡幅へ!! （待避所設置工事）



たけはな みゆき
竹花 美幸

Q 春日温泉は佐久市の財産であり、開湯300年の歴史と美人の湯として知られています。

もちづき荘の進入路が狭く、車でのすれ違いができないため、地域の皆様は十年も前から進入路の拡幅を願ってきました。特に冬場は凍結し危険です。拡幅が無理ならば待避所を設けるべきです。「市長、このままでよいのでしょうか。」春日温泉の活性化についてどう考えか。

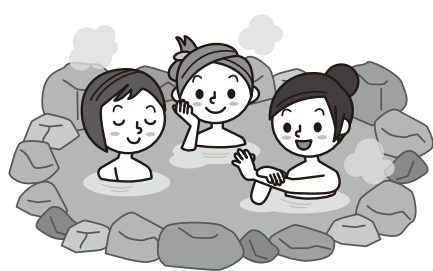
A 春日温泉は、日本では珍しい高アルカリ性の泉質で、「玉肌の湯」として多くの人に愛されてきた信州屈指の名湯です。市では、もちづき荘・ゆざわ荘の施設改修に積極的に取り組んできたところです。佐久市振興公社においても、春日溪谷を上空から見下ろすVR体験を始めるなど誘客に努めています。

今年度、実施計画事業に計上した「もちづき荘」への進入道

路（市道66-097号線）待避所設置工事等、施設の計画的な改修による利便性の向上と情報発信に努め、春日温泉の活性化を計ってまいります。

Q 東西幹線の先線の計画は。合併から十年で状況変化があり慎重に検討すべきである。事業の継続性は大事。道は繋がってこそ生きるもの。無電柱化についての計画は。

A 来年度は「無電柱化基本方針」の策定に取り組んでまいりたいと考えています。



長野西高校通信制サテライト校について 保育要求に応じた環境の整備について



こばやし まつこ
小林 松子

Q 市として、望月でのサテライト校充実のために何ができるか。公共交通の増便をして通学しやすい環境を整えることが必要では。

A サテライト校に通学する生徒は、自分のペースで通学できることから、通学時間・通学方法に考慮し、県教委の方で検討いただくものと考えている。

Q キャリア教育の充実を図るために、特にゴルフ等は多額の経費がかかると思うが、県と佐久市での協議が必要では。

A キャリア教育は、サテライト校での教育活動の一つであることから、県として検討いただくものと考えている。

Q 未満児が希望の保育園に入れない状況については、保育士の正規職員の増員により保育士を確保し、公立保育園の未満児クラスを拡充するべきと考えるが市の考えは。



湯川の治水対策推進を！ デマンドタクシーの利便性向上を！



おおい たけお
大井 岳夫

◆湯川の治水対策について

Q 湯川はその形状により治水対策に課題が多い河川だが、直近の要望件数と対応箇所数は。

A 平成29年度は14件の要望に対し対応箇所数は1箇所だった。佐久建設事務所では緊急性を考慮して優先順位をつけ、計画的に対応していると聞いている。

Q 流域住民の安全確保のためにも整備は急務である。今後どのように対策を進めていくのか。

A 地元県議会議員との懇談会や千曲川水系河川整備促進期成同盟会での要望活動等、あらゆる機会を捉えて要望していく。

◆デマンドタクシーについて

Q 不便を感じている利用者の声、利用したくてもできない市民の声をいかに酌み取り、今後の運行に反映させていくか。

A 地域の集まりに職員が出向いてご意見をお聞きしているほか、様々なイベント会場でアンケー

◆その他の質問

トを実施している。現在、昨年10月からの1年分の乗降データ等を分析・検証しており、その結果に基づき、停留所の見直しや運行時間・運行方法の見直し等、利便性の向上に努めていきたい。

・マレットゴルフ場の現状と環境整備について
・林業における人材確保に向けて

浅間山火山ハザードマップについて 今後の地域公共交通の在り方について



せきもと けいご
関本 功

Q 浅間山火山ハザードマップでは、市内への影響はようになっていくのか。

A 市内への影響としては、「直径50センチ以上の大きな噴石」、「溶岩流」は予測されていないが、「降灰」は市内ほぼ全域で予想されており、市役所付近で、最大32センチと予想されています。また、「火砕流や火砕サージ」は市内北部の一部に到達すると予想されています。

Q 地域全体を見渡した総合的な公共交通網の形成はどうか。

A 地域の拠点に生活機能を集約し、拠点と集落を、そしてその地域同士を道路や公共交通により結び合う、「機能集約・ネットワーク型のまちづくり」を進めています。

Q 多様な交通サービスの組み合わせについてはどうか。

A 拠点と集落、拠点と拠点を結び合う公共交通は、その地域の



ラッピング循環バスの利用を



大雨で増水した湯川

福祉風呂利用促進、市民割、障害者割引制度を・農地へのソーラー設置問題



いとう ゆうこ
内藤 祐子

◆佐久市の福祉風呂の利用促進

Q 市民の健康増進、福祉のために設置した温泉や健康運動施設を、更に利用しやすくするため

A 布施温泉とみはらしの湯の平成29年度の利用実績は。

Q 布施温泉819件。みはらしの湯47件。

A それぞれ障害者本人と介助者2名ついた場合の利用料金はいくらか。

Q 布施温泉はみはらしの湯の17倍以上の利用がある、この利用者数の差はなぜと考えるか。

A みはらしの湯はまだ新しく、周知されていない。

Q 福祉風呂の利用者も実際は高齢者が多い。上田市等のような障害者（高齢者）割引であったり、また、市民割引などを導入

するべきではないか。

A 今も、風呂の日や、佐久の日などの割引をやっている。

Q 東御市の御牧の湯のように、福祉風呂に風呂用車イスを常備できないか。

A 指定管理者と協議し、検討。

Q みはらしの湯のバリアフリー度を高めるべきではないか。

A みはらしの湯は個室風呂。

◆その他の質問

A 農地へのソーラー設置の際の転用手続き・説明会の在り方等が

Q イドラインの課題について

市内2ヶ所の福祉風呂の比較		
	H29年度 利用件数	障害者本人と介助2名の 利用料金
布施温泉	819件	1,050円
みはらしの湯	47件	3,900円 (割引適用で3,800円)

小中学校の「いじめ」について・市内でのパワハラ等のハラスメントについて



わじま みみ
和嶋美和子

◆いじめの現状について

AQ 認知件数と内容は。

A H28年度は53件、H29年度は65件、H30年10月末現在では71件

Q となっている。内容は「冷やか

A しやからかい、悪口」が一番多

Q く、「仲間はずれや、集団によ

A る無視」「遊ぶふりをして叩か

Q れたり、蹴られたりする」があっ

A た。

Q 解決したいいじめは何件か。ま

A た、解決後の取り組みは。

Q 本年度10月末現在では、71件

A 中53件で18件が解決に向けて取

Q り組み中である。解決後も被害

A ・加害双方の児童生徒をフォ

Q ローしている。また、いじめ事

A 案については教職員間で情報を

Q 共有し、学校全体で当該児童を

A 見守る体制を整えている。

◆パワハラ等のハラスメントについて

AQ 現状と予防対策は。

A 現在、総務課の相談処理窓口

Q には具体的な相談はないが、職



員間におけるコミュニケーション不足や、指導育成や意見交換

Q の場での言動についての認識の

A 違い等が原因で、対人関係に苦

Q 慮している職員は少なからずい

A るものと認識している。

Q H27年度から管理・監督職員

A を対象とし、ハラスメント防止

Q 研修を実施しており、ハラスメ

A ントの種類、具体的な事例、

Q 予防の方法等を学んでいる。今

A 後も、研修を定期的に繰り返し

Q 行い、ハラスメントを予防して

A いく。

子育て支援・産後うつとケア・野沢会館改築について



つちや ひろこ
土屋 啓子

Q 子育てサロン、つどいの広場の事業内容と利用状況について。

A 「子育てサロン」は児童館で

Q 午前中に開催。昨年度は19箇所

A 291回の開催、約7千人の利用者

Q が有った。「つどいの広場」は

A 保護者の仲間作りや情報交換

Q の場として利用されている。育

A 児不安解消や軽減の為、子育

Q て専門員が相談に応じてい

A る。市内5会場903回開催、延べ

Q 2万4千700人の参加があった。

A 小児科医による市内保育園等

Q への出前講座の開催状況と保護

A 者の反応について。

Q 市内全保育園と幼稚園に出向

A き、病気やけがの対処法等の指

Q 導相談に応じている。昨年度は

A 34会場で開催し、千300人の参加

Q があった。保護者からは「疑

A 問解消になった。」また「病氣

Q の対処法が昔と違うことも有り、

A 参加して良かった」という声も



子育てサロンの様子

◆その他の質問

A 野沢会館改築について

Q 2年間で92人の自殺者があ

A ったという「産後うつ」の現状と

Q そのケアについて。

A 産後うつの疑い有りが約1割、

Q 継続して支援が必要とされた人

A は4人に1人が該当。妊娠の時

Q 点から関わり、出産後は保健師

A 助産師による全戸訪問を実施し

Q ている。また産後うつの所見が

A ある時は、訪問や、電話また他

Q 機関との連携により継続した関

A わりを持たせる。

学校教育について



しみず ひでさぶろう
清水秀三郎

Q 2020年度から小学校外国

A 語教育が本実施されるが、現況

Q と課題、今後について

A 現在は移行措置期間（来年度

Q 迄）。3・4年生で授業時間は

A 現在15時間が本実施では35時間

Q になり、5・6年生で50時間が

A 70時間になる。外国語指導助手

Q （ALT）は9名、勤務時間は

A 一日7時間以内、来年度より全

Q て直接任用。課題は教師の研修

A による不安解消。授業時間の確

Q 保等。

A 教師の指導体制・内容と地域

Q 英語協力者活用現況について

A 現在3・4年生で全ての時間、

Q 5・6年生は35時間ALTを配

A 置。ALTが配置出来ない時は

Q 音声や映像のデジタル教材や地

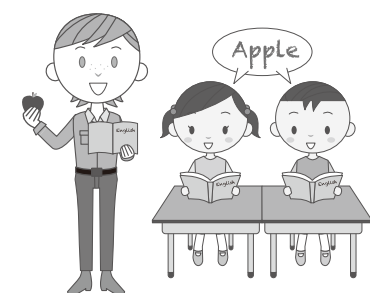
A 域英語協力者を活用。英語免許

Q 保持教員は担任195人中14名。教

A 師の質向上策に各種研修実施。

Q 授業時間の確保について

A 一単位時間を15分、3回に分



Q けるモジュール制等を活用する。

A 今後検討していく。

Q 子供は授業が楽しく意味があ

A ると思えば真剣に取り組む。勉

Q 強すれば、どの様な幸せを得ら

A れるのか。英語は「身に付ける

Q のに値するもの」だということ

A を伝えたい。そのためにも子供

Q が楽しく、興味を持って自分の

A 言葉として聞き、話し、読んで、

Q 書く必要がある。小学生が英語

A を学ぶのに、ふさわしい学び方

Q について、多くの検討を重ねて

A 頂きたい。

Q 十分な検討をしていく

テレワークの推進について 不登校児童生徒も個々にあった支援を



よしかわ ともこ
吉川 友子

◆テレワークについて

Q 離れた場所で仕事をする働き方であるテレワークは仕事と私生活のバランスをとるのに有効的で移住促進にもつながります。テレワークに関する市の考えや来年度の新事業「まるっとテレワーク」の詳細は。

A これまでも積極的な移住施策による人口の社会増をさせてきたが、企業のテレワーク誘致により今後更に加速させたい。平成31年度は目玉事業として取り組みたい。まるっとテレワーク事業はテレワーク普及のための施設や環境整備事業。

Q

く友人関係が主な要因。中間教室やフリースクールを紹介するが、家から出られない児童生徒に関してはハートフルフレンドなど訪問で対応している。

A 教育機会確保法により、学校外での学習活動が行われるために必要な支援をするよう努めることとなったが、フリースクールの通室も出席扱いにしてほしいという意見もあるが。

A 現時点では単純に出席扱いにできないが、これからいろいろ検討する機会があるだろう。

◆不登校について

Q 不登校児童生徒数の現状、傾向、要因は。

A 今年度10月末現在では小学生は23名、中学生は48名。小学生は横ばい、中学生は増加傾向。学業不振、家庭に係る状況、中学生はそれに加え、いじめを除



森の中でテレワーク

立地適正化計画・駒場公園案内看板・外国人観光客通訳ガイドについて



きよし 潔
やなぎさわ 柳澤

Q 立地適正化計画はコンパクトシティの意味合いもあるが、市民の不安にどう対処するか。また推進するうえでは、公共交通を組み込んでいく必要がある。

A 市民生活に直結する計画であるため公共交通も含め、市民説明会や19団体延べ690人との意見交換をした。緩やかな誘導政策により、個人の自由を束縛しない。

A

高校生や議員も参加することが良いと考えるがどうか。

A 佐久市を訪れた昨年の外国人観光客は6千662人で前年度比40%増となっている。通訳案内規定が緩和され、有資格者以外でも有償で行うことが可能になった。2020年のオリンピックではエストニアからの選手受け入れもすることから、通訳ガイドの育成を検討していく。

Q

駒場公園利用者が、イベント等で駐車できない場合、他の駐車場への案内が分かりづらい。また、近代美術館は3千400点を収蔵するなど市民としても誇りを持っている。大型の案内看板が設置できないか。

A 第2駐車場を含め駒場公園全体の案内看板を各課と協議をする中で進めていく。

Q

増加傾向にある外国人観光客受け入れに向けて、通訳の育成ができないか。また、中学生、



美術館案内看板の例

道の駅「ヘルシーテラス佐久南」の 決算書類の不整合と監査について



よしか 徹
吉岡

Q

決算書を含む標記道の駅の「平成29年度事業報告書」の作成日と所管部局の受付日が実態とは明らかに異なっているのみならず、提出者（指定管理者）の氏名も間違っているが公文書として不適切ではないか。

A 提出された文書をそのまま公文書として受け取った。

Q

この施設は物販と飲食という業態が全く異なる事業をそれぞれ分けて2社に指定管理されているが、決算書ではこの両者の経費を単純に合算して計上している。これではそれぞれの経営実態は全くつかめない。その一例だが最終損失として計上されている2千900万円の赤字はどちらの事業から生じたものか市は把握できているか。

QA

把握していない。
提出された決算数値に基づいて市が作成した「施設概要調査」が2通あるが多くの科目で数値



12月の金曜日午後6時の道の駅ヘルシーテラス佐久南のレストラン（閉店中）

Q

特に疑問なのは巨額の減価償却費の計上だ。1億を優に超える固定資産があるはずだ。市はその内容を把握しているのか。

A

先方が適正にやっているものと思っている。

Q

万事相手任せか。数値の不整合、不自然さは覆うべくもない。監査に入るべきではないか。

A

監査委員会として検討する。

有利な電力の導入・災害時の要配慮者 支援・特別支援教育支援員について



のぶひこ 信彦
えもと 江本

◆有利な電力の導入について

Q 新電力を含む有利な電力については、早急な導入を求めている。経費の削減効果はどうか。

A 有利な電力を導入した27施設のうち、本庁舎では、年間約300万円の削減となったと試算している。本庁舎以外の施設については、現在試算中であるが、それらを含めると、さらに大きな削減が図られたと考えている。

◆災害時の障がい者用バンダナについて

Q 第二次佐久市総合計画実施計画に「災害時支援用バンダナ作成事業」が計画されているが、活用方法について伺う。

A このバンダナは、四隅に「耳が聞こえません」、「目が不自由です」、などの文字を印刷し、周囲の方に見えるように身に着ける事で、支援が必要な事がわかりやすくなる。また支援を受けやすい目印となり、災害時に

おける要配慮者への支援の対応の向上が図れると考えている。

◆特別支援教育支援員について

Q 支援員の業務が円滑に行われる為に、どのようなサポートを行っているか伺う。

A 支援員の知識や能力向上のため、研修を行い、研修資料を基に支援員の役割等について指導している。また事例紹介や情報交換の場を設け、支援を行う上での課題や実践について話し合い、能力の向上に役立てている。



有利な電力を使い、削減効果を高めましょう。

佐久市地域公共交通網形成計画における浅科地区の状況について



たかなぎ ひろゆき
高柳 博行

Q デマンドの利用実績は。

A 昨年10月の運行開始から、本年の9月のこの一年間で浅科地区デマンドタクシーは、千33人の方に利用していただいている。1ヶ月あたりの平均利用者数は86人。

Q 乗降状況は。

A 乗降者の最も多い停留所は、「穂の香乃湯停留所」で、乗車が283人、降車が321人。

次は「塩名田停留所」の乗車が140人、降車が104人、続いて「御牧原集荷場前停留所」の乗車が86人、降車が65人。

また、この一年で乗降者が全くいない停留所は「鶴沼停留所」、「水地団地西停留所」、「矢嶋北停留所」、「蓬田西停留所」の計4ヶ所。

Q 浅科地区デマンドタクシー利用に際し、認識している課題は。

A 浅科地区のデマンドタクシーと路線バス「中山道線」、「山手

線」との接続を見直してほしい。また、浅科地区の皆さんが買い物や通院などでデマンドタクシーを利用して、岩村田や望月方面に行けないため、エリアを跨ぐ場合必ず乗り継ぎが必要になり、料金が高くなるため見直ししてほしい、運行日を増やしてほしい、停留所を増やしてほしい等の要望がある。一年間の乗降データの分析・検証を行い、更に住民の方々のご意見を考慮し、利便性の向上に努めてまいりたいと考えている。



教員の働き方改革・空調設備整備事業・地域資源を生かした観光振興について



みついし よしふみ
三石 義文

Q 市立中学校への部活指導員配置を進めるとしたが、顧問の先生には、熱心な方が多い。指導員導入が顧問の先生のやりがいや、指導に影響しないか。

A 顧問不在や大会の引率など可能で負担軽減につながり、運用の中で充分検討し、指導や、やりがいに、影響しないよう運用していく。

Q 来夏に全ての小中学校への設置が間に合わないとしたら、エアコンに頼らない猛暑対策が必要、下校時の心配の声もあるが、どの様に考えているのか。

A 立地や施設などが異なることから、学校により様々な対策をし、対応してきた。来夏についてもグリーンカーテン、ミストシャワー、ネッククーラーまた、熱中症予防の学習など対策を本年と同様に講じていく。夏休みの延長については、多角的に見て総合的に検討し判断していく。

Q 特色ある地域資源を生かした観光振興について一級公共基準点を設置した「海岸線から一番遠い地点」など観光資源の情報発信による観光振興はどう考えているのか。

A 本年度一定の地域を集中的にPRし観光パンフレット、SNS、ホームページなどで発信。地域の魅力を他地域と連携させ、地域全体の観光振興につなげていく。



希少な観光資源

児童館のあり方について



しおかわ ひろし
塩川 浩志

Q 利用者の多い館の職員不足についての市の認識と改善策は。

A これまでも現場の声と実情に応じて職員を増員するなどしてきた。今後も児童の安全を最優先に運営していきたい。

Q 特に支援が必要な児童数は職員数の判断の際に考慮しているか。

A できる限り配慮に努めているが、全てできているかと言うとそうでない場合もあると思う。

Q 1日の平均利用者が160人と最も過密な佐久城山児童館についての現状認識と改善策は。

A 混雑の状況は認識している。学校ともよく相談し、利用状況を把握する中で職員の配置も含めて検討していきたい。

Q 過去に答弁された佐久城山児童館の増築の検討状況は。

A 周辺環境の現況から、増築は困難と考えている。学校から児童館への情報提供

Q 学校から児童館への情報提供

市民課「おくやみコーナー」設置、複合型図書館の創設、空き家対策課設置



こばやし としはる
小林 歳春

◆市民課窓口対応について

Q 市民課の窓口混雑回避は。

A 一月から十二月までの「窓口混雑予想カレンダー」を、ホームページに掲載する。

Q 市民課窓口に、「おくやみコーナー」の設置は。

A 窓口で渡している死亡届にかかる手続きの一覧表を見直してご案内する。

◆市立図書館の活用について

Q 各図書館とも蔵書冊数が図書収容能力を越えているがその対応は。

A 適切な除籍処理を行ない、図書資料の整備を行なっていく。情報発信と学習室としての複合型図書館を佐久平駅前を設置してはどうか。

A 図書館のあり方について、考えて参りたい。

◆佐久市無居住家屋等対策計画について

Q 空き家減少のための取組みは。



公明党全国 100 万人アンケート集計結果

が少なく、情報共有が「一方通行的だ」との指摘があるが、より踏み込んだ対応ができないか。学校側も、放課後は児童館にお任せではなく、連携を深くしていかなければと思っています。

Q 国のガイドラインにある「児童館運営協議会に子どもを入れて声を聞くこと」はできているか。

A 100%とは言いきれないが子どもたちの意見も聞いて事業に取り入れている。協議会の設置については研究していきたい。



市内で最も過密な佐久城山児童館

A 佐久市空き家ガイドブックの回覧で周知啓発を行っている。対策協議会を開催し、特定空き家の指定を行ない、相続財産管理人制度を活用して、対応している。

Q 空き家入居に対する家賃補助が出来ないか。

A 特化した助成は難しい。

A 空き家対策課の設置は。建築住宅課が所管となり、関係課と連携を図り対応する。

保育園について・孫育て支援について
随意契約について



◆保育園について

Q 小規模保育事業所の整備に係る支援の内容とどの地域に予定をしているか。

A 3歳未満児の入所希望が毎年35名程度増加している。特に佐久平駅を中心とした浅間地区に増加が顕著である。3歳未満児に特化した受け皿確保をするために計画した。市内の民間事業者に協力いただき最大19名が入所できる施設で、浅間地区に2つの事業所を計画した。

◆孫育て支援について

Q

長野市ではわくわく子育て応援ブックとして、祖父母のための孫育て情報誌を発行している。子育ての今昔について書いてあり、利用度が高い。佐久市では取り組みができないか。

A 子育ての情報は教えてドクターや赤ちゃん手帳などの冊子に掲載しているが、別々の冊子となっており一元化されていない

◆随意契約について

Q

50万円未満の輪番制小規模工事について上限金額の引き上げ要望があったが、今後の進め方について聞きたい。

A

実際に運用している事業課職員でワーキンググループを組織し検討を進め、改正案を纏める。



兵庫県神戸市「バイオガス活用推進事業他」
大阪府堺市「ものづくりマイスター制度」
大阪府泉佐野市「特産品相互取扱事業」

経済建設委員会

◆神戸市：下水処理の過程で発生する消化ガスをCo2排出ゼロ

燃料として精製し、自動車燃料や都市ガスとして供給している事業を視察。現状では精製に化石燃料を使うが、10年後にはクリーンな自家製ガスのみでの精製が可能になること。

下水は枯渇することのない資源であり、将来のエネルギー施策の一つとして検討して行くべき事業と考えます。

◆堺市：「ものづくりのまち」として同市の伝統技能の一層の発展を期して制定された「マイスター制度」の運用の実際を視察。現在、刃物鍛造等8職種22名をマイスター（名人・親方）として認定。技能見学会や実演等が随時行われ、昨年は小中学生等約600名が参加したとのこと。

子どもたちの「ものづくり」



汚泥をガスと水に分解する消化タンク（こうべバイオガス）

◆泉佐野市：同市は「町おこし事業」の一環として佐久市を含む全国45の自治体と特産品の相互販売協定を締結し、市内3カ所に協定締結各地の特産物専用販売所を設置しており、その一つを視察。

売上げも順調に伸びているとのこと、友好都市の多い当市の参考になる事業と思います。

◆北上市・湯沢市：私たちは議会活動の効率化、ペーパーレス化を図るため、かねてよりタブレット端末機の導入を模索してきました。昨年の八戸市議会視察に続き、すでに導入している両市議会での運用の状況を視察してきました。

両市議会とも導入については1、2年の検討・準備期間を経て、それぞれ29年11月～12月に導入され運用が開始されています。初期費用や月額運用費用もさほどではなく、年配の議員も使い方に戸惑うこともないようで順調に運用されているようでした。北上市議会での視察では私たちにも端末が用意され、実際に操作をしてその便利さを実感することができました。

佐久市議会でも導入に向けた検討に入りたいと思います。

◆由利本荘市：同市議会の「議



友好都市・由利本荘市では議会報告会について視察

佐久市民の日 議場コンサートのお知らせ

佐久市議会では、佐久市民の日にあわせて、議会を身近に感じていただくため、議場コンサートを開催します。入場無料となっておりますので、皆さん、ご都合をつけてお越しください。

なお、議場コンサート終了後、議会棟案内を予定しておりますので、ご希望の方は受付時にお申込ください。



昨年の議場コンサートの様子（手話による合唱）

日時 3月8日(金)
午後3時～4時30分頃(予定)
場所 佐久市議会議場
出演 ハンドベル「ガチャベル」ほか

●予約席について

議場コンサートは、毎年、大変混雑するため、約80席のうち50席分を予約席としました。

申込期間：平成31年2月25日(月)～3月1日(金)

時間：午前8時30分～午後5時15分まで
申込方法：予約は電話のみ(先着順)、1人2席まで、お名前、電話番号と、人数をお知らせください。

なお当日、予約されない方も入場できますが、立見もしくは入場できないこともありますので、ご承知おきください。

事前申込連絡先：0267-62-3495（議会事務局）

岩手県北上市「タブレット端末導入について」
秋田県由利本荘市「議会報告会について」
秋田県湯沢市「議会改革について」

議会運営委員会

会報告・意見交換会」は、平成28年から毎年5、6月に議長を除く全25人の議員を5班に分け、それぞれ市内2会場ずつ計10会場で行われていました。今年の参加者は合計188名。年々減ってきているのが課題とのことでした。

当佐久市議会では昨年11月市内5カ所で開催しましたが、参加された方は合計で50人前後でした。意見は活発に出して頂けたので、次回からは参加者の増加に向け開催方法を工夫すべきと思います。

出前議会報告・意見交換会

を随時受付中です。

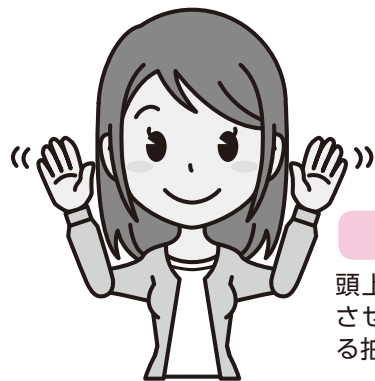
市内に在住、在勤または在学する方で、
10人以上であれば、誰でも申し込めます。
ご希望の方は、議会事務局へお問い合わせください。

あなたの声を、
間近でお聞かせ
ください。



手話を学ぼう

～会話をしてみましょう～

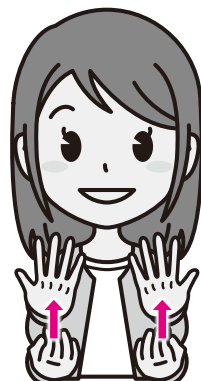


拍手

頭上で手をひらひら
させ、目で見てわか
る拍手をします。

おめでとう

両手をおなかのあたり
の高さで軽く握り、パッ
と開きながらあげます。



議会だより表紙大募集中!!

イラストや、佐久市内で撮影した行事や風景など
の写真を募集中です。

年間を通して随時応募を受け付けていますが、各号ごとの審査
対象は次の期日までに応募があった作品としています。

- ・5月1日発行号 ▶▶ 3月31日までの受付
- ・8月1日発行号 ▶▶ 6月30日までの受付
- ・11月1日発行号 ▶▶ 9月30日までの受付
- ・2月1日発行号 ▶▶ 12月27日までの受付

詳細は、佐久市議会ホームページをご覧くださいか、
議会事務局へお問い合わせください。



今号も多数ご応募いただき
ありがとうございました。

あなたも議会を傍聴してみませんか

★次の定例会（平成31年3月定例会）の日程（予
定）は右欄のとおりです。

★委員会審査も傍聴いただけます。
本会議同様、各常任委員会、特別委員会、議
会運営委員会も傍聴いただけます。
ただし、委員会会場の都合上、希望者多数の
場合は、開会前に抽選を行いますのでご了承
ください。

※ご注意ください

本会議、委員会とも傍聴の際は、携帯電話の
電源をお切りください。また、会議の様態を
撮影、録音することはできません。

問い合わせ先 佐久市議会事務局
電話 0267-62-3495（直通）

次回定例会のお知らせ

【平成31年3月定例会】開催予定日

日	月	火	水	木	金	土
2月17日	18	19	20	21	22 本会議 (開会)	23
24	25	26	27	28	3月1日	2
3	4	5	6 本会議 (代表質問)	7 本会議 (一般質問)	8	9
10	11 本会議 (一般質問)	12	13 本会議 (議案質疑)	14 委員会	15 委員会	16
17	18 委員会	19	20	21	22 本会議 (閉会)	23

※日程は、諸事情により変更となる場合があります。

市議会から市長へ政策提言を行いました!!

佐久市議会としては初めて、市へ公共交通の利便性に関する政策提言を行いました。
総合交通対策特別委員会からは、「公共交通の利便性向上について」と題して、行政が地域の
実情にあった交通体系を検討する協議会の設置などについて提言しています。

総務文教委員会からは、「佐久市・佐久圏域の公共交通について」と題して、周辺自治体か
ら佐久市の高校に通学する生徒にとって利用しやすいバス路線にすることなどについて提言
しています。

提言書の内容については、市ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

議長から市長へ議会の総意として
提出する旨を説明



市長へ政策提言書を手交する議長
および各正副委員長

議会と語ろう会のお知らせ

テーマは「議員報酬について」

議会の在り方が問われる中、当市の議員の報酬がどうあるべきか、市民の皆様とともに考え、
意見交換を行う場として、下記のとおり、議会と語ろう会を開催します。ぜひご参加ください。

日 程	時 間	場 所
2月7日(木)	午後7時から	中込会館
2月9日(土)	午前10時から	東会館
	午後3時から	交流文化館浅科
2月10日(日)	午前10時から	あいとぴあ臼田
	午後2時から	浅間会館
2月11日(月・祝)	午前10時から	駒の里ふれあいセンター
	午後2時から	野沢会館

問い合わせ先 議会事務局 電話 62-3495

議員辞職のお知らせ

平成30年12月21日をもって、大井岳夫議員（2期1年7か月）、
竹花美幸議員（3期1年7か月）が辞職されました。